

## 杏林堂薬局店舗に CNLPガス供給

### エンジンと協定

LPガス販売のエンジン（浜松市中央区）とドラッグストアの杏林堂薬局（同）は16日、一酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量が実質ゼロのカーボンニュートラル（CN）LPガスの供給協定を結んだ。

同薬局の十数店で従業員や総菜テナントが調理などに使う年間約10トンのガス（200万円相当）を、2%ほど割高なCNLPガスに換える。約33トンのCO<sub>2</sub>削減につながるという。

同市浜名区と同薬局小松店で調印式を行った。同薬局の小河路直孝社長は「環境や地域のためにできることから始めようと導入した」と述べ、エンジンの藤

CNLPガスの供給協定を結んだ杏林堂薬局の小河路直孝社長（左）とエンジンの藤田源右衛門社長。16日午前、浜松市浜名区と同薬局小松店



田源右衛門社長は「協定を契機にさらにCNLPガスを広めたい」と話した。

CNLPガスは、ガスの採掘から燃焼までに発生するCO<sub>2</sub>排出量を、森林保護などで吸収したCO<sub>2</sub>と相殺することで排出量をゼロとみなす。エンジンはLPガス元売りのENEOSグループ（東京都）から、2月に100トンのCNLPガスを購入した。